

集住グリーンネットワーク活動報告夏の特大6・7・8月号

vol. 32号 2006.8.31

季節がたつのは早いもので、気づいたら秋の気配が漂う時期になってしまいました。今月号は夏の特大号で少し昔を振り返ってみて、6、7、8月の活動を報告します。

I-①南平丘陵公園自然塾 第8回活動

日時: 6/17 AM10:00~13:00

参加者:C&G ネット:松岡 甲野 リコー自然教室:井田 大槻 阿川 植坂 今田 陸川 小笠原 山田
日野市:平野 活動テーマ:アズマネザサの下刈り 椎茸菌の植え付け 新規フィールド調査

南平はすっかり初夏の様相で先月切ったはずのアズマネザサはすっかり伸びきった状況でありました。今回のメニューは主に2班に分れ、1班はフィールド開拓。こちらは谷にあるせいか、暑さと背の高いアズマネザサの猛威にさらされながらの作業でした。

2班目は先月に移植したコナラの実生の坪刈り。こちらはすくすくの成長をしており良好な経過です。コナラのほだ木へのこま菌の投入は、購入した発電機を使用して、効率よく作業が進むはずでしたが、パワー不足で最後には手作業に。なんとかノルマは果たすことができ来年の春を待つばかりに。。。



I-②南平丘陵公園自然塾 第9回活動

日時: 7/15 AM10:00~12:00

参加者:C&G ネット:松岡 甲野 リコー自然教室:井田 大槻 阿川 植坂 今田 陸川 小笠原 山田
日野市:平野 活動テーマ:アズマネザサの下刈り 土留作り

今回のメニューは土留づくり。3年間を通して活動して、その植生の変化をみてきた結果、山野草が繁茂していかないのは土壌が貧相であることが影響しているのではないかとこととなり、急斜面の上を土壌が流失しないための方策を取ることに決定。伐採木を利用して、土留を作ることにしました。簡易土留とは言え、伐採木は重いし、土壌は硬く、作業ははかどらず、1日かけて10m程度の作業量でしたが、夏の間はこの作業を地道に続けて、斜面地の植生基盤の造成に力を注ぐつもりであります。

夏の草刈りの方は懸案であった、奥野森の下草刈りの2回目にも着手することができ、手前の山野草のゾーンも美しくなり、活動の成果をだすことができています。



I-③南平丘陵公園自然塾 第10回活動

日時: 8/19 AM10:00~12:00

参加者:C&G ネット:松岡 横山 リコー自然教室:榎本 井田 大槻 阿川 今田 陸川 小笠原

活動テーマ:アズマネザサの下刈り

今回はリーダー(甲野)が学会にて不在のため、全員で下草刈りを行った。

林床部の笹は前回よりさほど伸長していなかったが、ギャップ部分は林床部より4、5倍伸びていた。旧盆あけで、参加人数に不安はあったが、9名の参加があり、手分けしてフィールド全体の下草刈りを時間内にほぼ終わらせることができた。斜面上のテラスはアズマネザサの伸長が著しく、5月に植え付けを行ったコナラの苗木が心配されたが、きれいに笹が刈り取られ、コナラの苗木がすべて順調に生育していることが確認できた。当日は酷暑で、風もなかったことから、まさに蒸し風呂状態の中での作業であったが、下草が刈り取られた林は緑の風が通り、涼しげに感じられた。

次回こそ、新しいフィールドの下草刈りをせねば。。。 筆 松岡



II・第17回環境教育学会 参加

日時:8月18日(金)~8月21日(月)

場所:北海道大学 酪農学園大学 参加者:甲野

日頃理事長の合い言葉である、「活動はやるだけでは意味がない、世にその成果を知らしめてこそ、その意義がある」、という言葉を実現化させるためにはるばると北の大地へと行って参りました。発表内容は南平自然塾と立川子供自然探検団等に参加している企業の社員の意識に関する研究であります。内容をここで説明するには紙面が少々足りないのので、後日論文をPDFで掲載いたしますので是非一読していただければと思います。また最終日にはエクスカッションとして話題の旭山動物公園に学芸員の方の案内つきで、バックヤード等をも見学することができ、環境教育とは何ぞや!という重く、そして深い命題について考えることができた4日間でありました。



Ⅲ-①・第3回立川しぜん探検団 竹細工作り

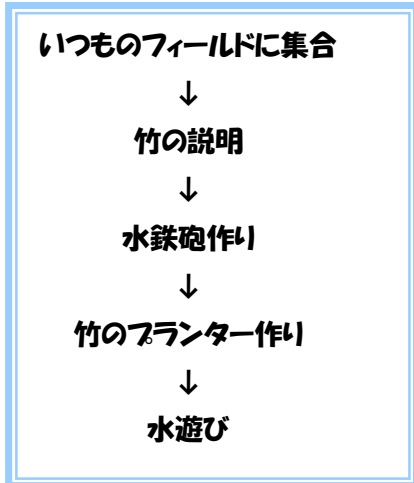
日時: 6/10 AM10:00~12:00

参加者:C&G ネット:松岡 岡田 甲野 阿部 横山 立川市民の会:山岸 公民館:渡貫

リコー自然教室 榎本 今田 植坂 参加者:30名

テーマ:竹細工に挑戦 竹を通して日本の里山を考えよう

プログラム:



七夕にはまだ早いけれど、今回は竹細工。八王子市の公園緑地課の協力をいただき、下柚木緑地からタケを頂いてきました。竹が全国で猛威をふるっている現状と竹の古来の利用法を理解した後は早速クラフトワーク。昨年参加してくれた上級生はジュニアリーダーになってもらい、小さな子ども達を指導してもらいました。竹のプランターには最後にはつる性の植物、アサガオやヘチマの種を植えてもらい、みどりのカーテン作りをしてもらいました。これを窓際にぶら下げれば直射日光をおさえることができ、クラーの使用量も減るはず。子供達は短い時間ながら、両方の作品を見事に作り上げることに成功しました。

Ⅲ-②・第4回立川しぜん探検団 水辺の昆虫調査

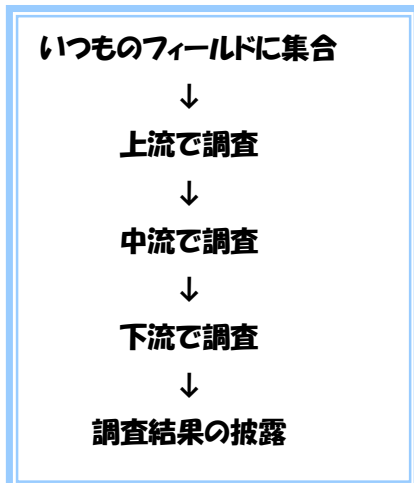
日時: 7/15 AM10:00~12:00

参加者:講師:初芝 渡部 堀口 C&G ネット:松岡 甲野 阿部 横山

立川市民の会:山岸 公民館:渡貫 リコー自然教室 榎本 今田 植坂 参加者:35名

テーマ:夏の昆虫達 生物の移り変わりに注目

プログラム:



初めての昆虫調査。暑い中での観察会となりましたが、稲の穂はたわわに実り、太陽はキラキラと輝き、まさに田舎の風景写真の一コマをたくさん写すことができました。今回はただの観察ではなく、簡易調査を行い、上流、中流、下流とそれぞれ環境の異なる場所で、生息する生物の違いを認識することができたようです。最後に昨年との違いの講評を先生からもらい、場所による変化、時間による変化を認識することができました。来年度はさらなる変化を子供達は感じる事ができるでしょう。

IV・立川市環境フェア

日時: 6/11 AM9:00~16:00

参加者:C&G ネット:松岡 甲野 横山 立川市民の会:山岸 リコー自然教室 今田
たちかわ自然探検団の皆様 20名 イベントへの参加者:40名

テーマ:第1部 たちかわ自然探検団の活動発表 第2部 みどりのカーテン作り

第1部 たちかわ自然探検団の活動発表



日頃の子供達の活動の成果の発表の場を環境フェアにて持つことができました。これは活動を自分達だけの内の世界に収めることなく、発表を通して子供達が社会とつながりを持たせることができる良い機会となりました。会場は朝一番だったせいか、満員というわけにはいきませんでした。準備のために何日も公民館や図書館で費やした成果を存分に発揮できたのではないのでしょうか。活動内容は当然として、身近な自然のすばらしさを来訪者に見せることができました。

第2部 みどりのカーテン作り



第2部は竹を利用したみどりのカーテン作りの講座を開催。これは広報では先着15名と明示していたのですが、開始してみると大勢の人が参加してくれて、40人分は用意した竹が全てなくなってしまいうほどでありました。昨年と比較して参加人数も増え、会のアピールも上手かった1日でありました。

V・積水化学 群馬工場 納涼祭

日時: 8/4 PM15:00~21:00

参加者:C&G ネット:松岡 甲野 横山 イベントへの参加者:40名程度

テーマ:夜のCO2ダイエット 丸太切りレースと地球温暖化について学ぼう



今年も再び、夏祭りの季節がやってまいりました。今年のテーマは祭りという遊びの中でいかに環境という重たいテーマを参加者達に理解してもらうか!単純な、きこりレースと二酸化炭素の樹木の中への固定量の理解という、???なことを組合せて参加者達に説得を試みてみました。

ところが開始3分で挫折。二酸化炭素という概念はまだない子供達がまだ多く、作成してきた資料は早くも使えなくなる。そこに毎年のことながら、大量の参加者達が押し寄せ、安全管理のほうへと注力がひきつけられることに。かくして今年もまた、遊びと学習のコラボレーションという高尚なる私のもくろみは無残に群馬の夜に値っていったのであります。。。

VI・経団連主催 企業とNPO・NGOとの交流会

出席者:C&G ネット:松岡 甲野

日時:7月24日 PM14:00~19:00

テーマ:企業とNGOの協業

ことしも昨年に引き続き、企業とNPO・NGOとの交流会に参加してまいりました。実りある講演を聞くことはもちろんのこと、パネルを出して自分達の活動を世間に広める大いなるチャンス。ワールドワイド、全国規模で活躍する団体が多い中、NPO団体に大小の違いはない、という勝手な信念の元に、一生懸命に活動をアピールしてまいりました。地道な地域活動の大切さが見直されているためか、我々の活動に興味を持ってくれる企業が多くおりました。特に空洞化が進んだ集合住宅の再生については、関心を示す企業が多く、ニッチな活動をしている団体として、印象を与えることができたのではないのでしょうか。

VI・平成17年度通常総会

日時:6月23日(金) 18時30分から19時30分頃

場所:リコー販売株式会社 西東京事業本部

早いもので今年は会を結成してから4回目の総会を無事向かえることができました。いつも開催している会場を変更して、パートナー企業であるリコー販売(株)さんの最新の会議室を使用させていただき、総会もつつがなく終了することができました。総会の終了後には社員の椎津により、最新のオフィスを見せていただき、日頃汚いオフィスで紙や図面にまみれながら仕事をしていることが多い、会員は皆目から鱗でありました。

終了後には近くの居酒屋にて熱い討論を今年も繰り広げたのであります。

- 第1号議案 平成17年度事業報告満場一致で承認された。
- 第2号議案 平成17年度決算報告満場一致で承認された。
- 第3号議案 平成18年度事業計画満場一致で承認された。
- 第4号議案 役員改選満場一致で承認された。理事長以下役員が全て再任されました。
- 第5号議案 平成18年度事業予算満場一致で承認された。

正会員数(議決権を有するもの) 11名+3社=14名の内参加者11名委任状2名で総会は成立。

この総会の結果を受けて6月30日付けで東京都知事に会計報告書等規定書類一式を提出し、今年も昨年度同様に、行政庁への活動・会計報告を無事に終了することができました。

VII・東京学芸大学とのコラボレーションのスタート

立川子供自然探検団が「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」に採択された、東京学芸大学の「持続可能な社会づくりのための環境学習活動~多摩川バイオリージョンにおけるエコミュージアムの展開~」の活動の一つである「学芸大生がひらくサステナブルな未来プロジェクト」の一つに採用されました。これは学芸大学が中心となって多摩川流域の環境学習を推進していくプロジェクトであり、探検団を大学生の学びの場、活動の場と位置づけ、子供達に現在のスタッフにはいない大学生との交流の機会を与えることで、他世代型コミュニケーションの一環として位置づけます。プロジェクトの開始は2006年9月。終了は2007年2月です。多くの学大生の参加を期待致します。

VIII. 活動予定

- 1、第11・12回 南平丘陵自然塾 9月16日(土)10時~ 樹木調査
10月14日(土)10時~ キノコ狩りと秋の味覚祭
南平丘陵公園に集合!!
- 2、第5・6回 立川子ども自然探検団 9月9日(土)10時~ 植物でビンゴ
10月7日(土)10時~ 秋の昆虫調査とバッタレース
- 3、リコー自然教室 初級編 9月22・23日(金)(土)
- 4、立川市環境リーダー育成講座 9月28日(土)10時~
- 5、イオンレシートキャンペーン贈呈式 9月9日(土)15時~

活動への参加お待ちしております!!

編集後記

遠い過去の出来事を思い出しながら、活動報告を書いておりましたが、不思議と3ヶ月も前のことがすぐに思い返すことができるものです。普段の生活や仕事であれば時間に追われ、過ぎ去ってってしまうものでも、NPOの活動は思い入れや苦勞、そしてそこから得ることができる喜びなども格別のものだから、このようなことが可能なのでしょうか。

今年もあつという間の上半期が終了してしまい、下半期に突入です。今後の目玉は立川市環境対策課、錦公民館との共催による、社会人環境教育講座の開講です。これは子供自然教育と同様にその実現を希望していたものであり、その責任の重さに身が引き締まる思いです。現在、講座内容等のプランを作成している最中であり、次号ではその講座風景等を皆様にお知らせすることができるものと思います。

また環境教育学会での論文発表、東京学芸大学との協同の開始、経団連への参加と地域のNPOながらもその活動内容を報告する機会に恵まれてきました。今後もこのような機会を活用していき、皆様が会員であることを誇りに思える団体へとしていくようにしていきたいと思っております。

活動では今年も秋の味覚会を開催します。終了後に、またまた収穫物を持って川原でバーベキューを開催しますので皆様ふるってご参加下さい。

発行:NO法人 集住グリーンネットワーク 甲野 毅
東京都立川市柴崎町3-10-10TYビル立川201
TEL/FAX042-540-3570

Email:cg-network@triton.ocn.ne.jp <http://www13.ocn.ne.jp/~cg-net/>